

鐘ヶ淵地区まちづくりニュース

発行：鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会 / 事務局：墨田区都市計画部防災まちづくり課 03-5608-6260

第39回鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会が開催されました

平成29年7月7日(金)に第39回鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会が開催され、鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会委員の変更、平成29年度鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくりの進め方、補助第120号線(鐘ヶ淵通り)の進捗等について説明がありました。

当日の主な内容は以下のとおりです。



まちづくり懇談会当日の様子

1 鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会委員の変更について(墨田区報告)

隅田西町会は、岡田正明様、梅若商栄会は、兼松敬一様が新たに町会等選出委員となりました。

また、東京都都市整備局第一市街地整備事務所の太友事業担当課長と墨田区都市計画部の渡辺部長が人事異動により新たに行政委員となりました。

2 平成29年度 鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくりの進め方について(墨田区報告)

前回のまちづくり懇談会において、隅田中央町会が参加することを条件に了承された鉄道沿線町会を対象とした「勉強会」の立ち上げに先立ち、2町会(寺七西町会・玉ノ井町会)が新たに勉強会に加わることから、これまでの検討事項や鉄道立体化事業に対する理解を深めるため、「勉強会準備会」を開催することや、地元PTAの協力のもと、まちの課題や現状について意見交換の場を持つこと、地区内の公共施設におけるまちづくりに関するアンケートを実施するとの報告がありました。

<平成29年度スケジュール>

	平成29年度				
	6月-7月	8月-9月	10月-11月	12月-1月	2月-3月
鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会	第39回				第40回 ↑
勉強会					→
準備会		●	●	●	●
ワークショップ			●	●	
アンケート				●	●

<勉強会準備会>

勉強会立上げの前段として、鉄道立体化事業に対する理解を深める。

【勉強会準備会テーマ】

- ・鉄道立体化の効果とまちづくり
- ・鉄道立体化事業の流れ
- ・鉄道立体化に伴う影響について
- ・生活再建手法について

<勉強会>

鉄道立体化実現に向け、駅前広場の位置や側道等の検討を行う。

【勉強会テーマ】

- ・鉄道立体化による影響に関する意見交換
- ・駅前広場等に関する意見交換

<対象町会>

- ・鐘ヶ淵町会
 - ・隅田中央町会
 - ・隅田中睦町会
 - ・梅若町会
 - ・隅田西町会
 - ・寺七西町会
 - ・玉の井町会
- (鉄道沿線7町会)

<地区内居住者の意見収集>

多様な世代の方々から、まちの現状や課題、将来像について意見収集を行う。

PTA等子供を持つ居住者との意見交換

【意見交換の内容】

- ・鐘ヶ淵駅周辺地区で生活をする上でのまちの「良い点」「悪い点」「変えたい点」
- ・意見交換の内容を踏まえて、どんなまちづくりが必要なのだろうか

アンケートの実施

【アンケートの内容】

- ・これまでのアンケート調査結果やPTAの意見収集結果を基に設問を検討。

地区内の公共施設の協力

(一定期間、アンケート用紙及びアンケート投函箱を設置して、アンケート回収)

●●●●●裏面に続きます

< 墨田区からの報告 >

区では、地域が一体となり前向きにまちづくりに取り組み、実績が積み上がってきていることを東京都に示すことが事業候補区間への格上げにつながると考えています。

そこで、これまで鉄道の線形の検討については、事業主体が検討すべきとしてきましたが、この度「区案」として線形の検討を行うこととしました。

今後は、その結果を踏まえ建設的な意見交換を行い、鉄道立体化の早期実現に向け鐘ヶ淵駅周辺地区のまちづくりのさらなる具体化を図ってまいります。

3 補助120号線(鐘ヶ淵通り)の進捗状況について(東京都報告)

期区間の用地取得は、残り数件についても積極的に折衝を進めています。下水道工事を始め、水道やガス工事にも入っています。

期区間の対象となる約70画地のうち、測量・境界確定が完了した画地は約6割、物件調査を行った画地は約8割となっております。契約については、面積換算で約14%となっております。

駅前で取得した事業用地は、従来のフェンスで囲うのではなく、歩行者の通行等を考慮し、ポケットパーク的な開放的な整備を行っていきます。

墨田五丁目の代替地の造成工事が完了しました。今後は測量、分筆を行い希望者の募集を行う予定です。

4 当日の主なやりとり(要旨)

<p>何故、いま区が線形を検討するのか。 また、区の役割は何か</p>	<p>昨年の6月東京都に対し「鐘ヶ淵駅付近の踏切解消に関する要望書」を提出したところ、東京都からは駅前広場や側道等の具体的な検討を行い、地域が一体となったまちづくりに取り組むことを求められました。 これら一連の要望活動での手応えから、地域が一体となり前向きにまちづくりに取り組み、実績が積み上がってきていることを東京都に示すことが事業候補区間への格上げのチャンスと捉え、「区案」として線形を検討し、その結果を地元の皆さんと議論を進め、東京都へ進言していきたいと考えています。</p>
<p>区が鉄道線形を検討すると言うことだが、これまでとの違いは何か。</p>	<p>「区案」の線形検討に際し、東武鉄道用地等を最大限活用し、民地への影響を最小限に抑えた検討を行っていきます。 なお、検討した線形については、今後立ち上げる勉強会において、意見交換を行い事業への理解を深めていきます。</p>
<p>東京都を動かすためには何が必要なのか。</p>	<p>地元が一枚岩になり、まちづくりに取り組み、実績が積み上がってきている事を東京都に示す事が候補区間格上げにつながると考えています。 そのため、まちづくり懇談会に参加していない隅田中央町会も一緒になって議論をすることで、示していけると考えています。</p>
<p>隅田中央町会は勉強会に参加するのか。</p>	<p>隅田中央町会からは「線形を示し、その線形をもって議論を進めるべき」との意見をいただいています。 今回、区案として線形を示すことで参加していただけると考えており、一緒に議論していきたいと考えています。 また、これまでの経緯を踏まえ、隅田中央町会が意見を述べる事ができる会としていきます。</p>
<p>勉強会に商店会を入れるべきではないか。</p>	<p>商店会の勉強会への参加については検討いたします。</p>
<p>まちづくり懇談会と勉強会の違いは何か。</p>	<p>鐘ヶ淵地区全体のまちづくりの意見交換をする場であるまちづくり懇談会とは、切り離された別組織として、勉強会では鉄道立体化に特化して意見交換をおこなう会となります。 まちづくり懇談会は存続し、勉強会での内容を随時報告していきます。</p>